

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部 「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2015 年 4 月号 (第 82 号)

発行責任者 髙田 良彦



所沢市小手指町 砂川掘 枝垂桜 仲山富夫/撮影

文芸講座「歌舞伎と文楽」のご案内

事業部長 二上 拓夫

好評の倶楽部主催文芸公開講座「歌舞伎と文楽」をテーマに、共立女子大学文芸学部教授、倶楽部特別会員である近藤 瑞男氏をお招きして、下記の内容で6月22日より開催いたします。

歌舞伎役者の家と芸—その長い歴史の中で、歌舞伎界には優れた芸を受け継いで行く家柄が生まれました。江戸の市川團十郎と荒事などは有名で、「歌舞伎十八番」としてまとめられています。

得意芸、舞台と大道具—歌舞伎の大きな魅力に、華やかな舞台があります。独特な舞台機構、特殊な使用方法を通して歌舞伎の面白さを再発見します。

花道や廻り舞台は、ミラクル・ワールドです。

女形の歴史と演技術—出雲の阿国という女性が始めたややこ踊りから、やがて美しい少年達の芸能となり、長い伝統の中で女形の芸を育てました。女形芸の頂点ともいふべき「道成寺」や「鏡獅子」などの舞踊について、お話しいたします。

歌舞伎と文楽—歌舞伎と並んで江戸時代を代表する人形浄瑠璃文楽について、その関係を中心に考えます。「仮名手本忠臣蔵」・「菅原伝授手習鑑」等の文楽を原作とした傑作を、互いの舞台を比較しながらの講座です。

講座期間：4回／各月曜日

平成 27 年 6 月 22 日・29 日、7 月 13 日・27 日

場 所：生涯学習推進センター201号

*募集・手続：後日チラシにてお知らせします。早めにお申し込みください。

時 間：午後2時～4時

講 師：近藤 瑞男 氏

共立女子大学 文芸学部 教授

**「みんなで進めよう、太陽光発電」をテーマにシンポジウムを開催します** (詳細は5月号に掲載)

日時：5月23日(土) 13時30分～16時

講演：市民電力連絡会代表 竹村 英明氏

会場：生涯学習推進センター 1F 多目的室

報告：所沢市環境政策課、市民、いすみ自然エネルギー

主催：所沢・自然エネルギー普及研究会、ところざわ倶楽部・地球環境に学ぶ 後援：所沢市

講演会『江戸庶民の笑いと文学』を聴いて

事業部 杉浦 正紀

今回、3月25日(水)新所沢公民館の公開講演会は東洋大学教授の中山尚夫先生の『江戸庶民の笑いと文学』という演題で、もじり百人一首などの笑いの文化に焦点をあてたお話でした。

我々も「もじり百人一首」という言葉は初めて耳にする言葉だったが、我々が良く知る古今和歌集を中心とした「小倉百人一首」の歌をいろいろもじって作られたのが「もじり百人一首」「いぬ百人一首」と呼ばれるものであり、言ってみれば、言語遊戯、ダジャレ、風刺的笑いといった、いわゆる言葉遊び的なものが江戸中期に庶民の間で流行ったと思われ「笑い」「滑稽」は庶民が自らの文化を持つに至り庶民の生活に根付いていったとのこと。

例えば、

「秋の田の刈り穂の庵の苦をあらみ我が衣手は露にぬれつつ」 (天智天皇)

「秋の田の刈り穂の庵の歌がるたとりぞこなつて

雪はふりつつ」(蜀山先生)

「我が庵は都の辰巳しかぞすむ世をうじ山と人は言ふなり」 (喜撰法師)

「我が庵は都の辰巳午未申酉戌亥子丑寅う治」
(蜀山先生)

江戸時代は「笑い」が庶民の文化であり、これが庶民には重要であり、元歌を変えた「もじり百人一首」は沢山作られた。又、今日の落語の基となった「辻噺」はこの頃から始まり「醒睡笑」や「仁勢物語」「犬枕」も作られた。

今日のように色んな遊びがある現代とは違い、江戸時代はこうした言葉遊戯が中心で文化を形成し和歌、連歌、狂歌、俳諧といったものが連綿として受け継がれ今日の短歌、俳句、川柳へと繋がっていることにつくづく歴史の流れを感じる。



中山 尚夫教授



3 月度 理事会報告

総務部長 稲村 洋二

3月9日、第4回理事会が開催された。議事内容は以下の通り。

(1) 会長挨拶

アンケート調査への協力に対し、謝意表明。

(2) 総務部案件

アンケート調査結果が19サークルから提出された。調査結果を4月理事会に報告予定。サークル訪問スケジュール調整。

各サークルの活動費及び会長・副会長へ、通信費を支給。

倶楽部をやめサークルに残る会員への対応を検討。

市民大学修了生の会3団体と市民大学22期企画委員との会合の日程の件について、22期企画委員で日程を決め、それに基づいて、

さんさん会、OB会と打ち合わせを行う。

(3) 事業部案件

3月25日、公開講座開催の件の確認。

文化祭実行委員会結成について、総務部、広報部からも委員に加わる。

出展・出演希望のサークルは、3月末までに申請書を提出することとした。

文芸講座については、共立女子大学の近藤教授による「歌舞伎と文楽」を検討中。

(4) 広報部案件

「広場」3月号報告と4月号の内容報告。

HPへの投稿を依頼。

倶楽部会員アンケート集計 (データー編) 総務部

1. 総会について (平成 26 年 11 月 19 日開催)

- 1) 総合評価 ①大変良かった 9 ②良かった 28 ③普通 38 ④不満 5 回答 80 人
 2) 説明内容 ①大変良かった 7 ②良かった 31 ③普通 34 ④不満 2 回答 74 人
 3) 開催時間 ①長すぎる 7 ②やや長い 19 ③普通 41 ④やや短い 3 回答 70 人
 4) 質疑応答 ①大変適切 5 ②適切 21 ③普通 30 ④やや不満 13 不満 0 回答 69 人
 5) 総会資料 ①十分な内容 13 ②ほぼ十分 30 ③普通 19 ④やや不十分 2 ⑤不十分 0 回答 64 人

2. サークル説明会・公開講演会 (平成 26 年 1 月 30 日開催)

- 1) 説明会総合評価 ①大変よかった 11 ②良かった 27 ③普通 17 ④不満 1 回答 56 人
 2) 新サークル説明内容 ①大変よかった 7 ②良かった 21 ③普通 21 ④やや不十分 1 回答 50 人
 3) 既存サークル説明内容 ①大変よかった 8 ②良かった 14 ③普通 28 ④やや不十分 1 回答 51 人

3. 公開講演会 (平成 26 年 1 月 30 日と 3 月 30 日開催)

- 1) 「高齢社会をどう生きるか PPK84 んてご存知」(ロイヤル病院院長 大久保清一郎氏) について
 ①大変参考になった 16 ②参考になった 36 ③どちらともいえない 6 ④あまり参考にならなかった 3 回答 61 人
 2) 「中国、韓国とどう付き合うか」(元共同通信論説副委員長 藤田博司氏)
 ①大変参考になった 8 ②参考になった 34 ③どちらともいえない 8 ④あまり参考にならなかった 4 回答 54 人

4. 文化祭について (平成 26 年 5 月 30 日開催)

1) ステージ部門

- (1) 総合評価 ①大変満足 12 ②満足 46 ③普通 35 ④不満 1 ⑤大変不満 2 回答 96 人
 (2) 発表時間 ①長すぎる 4 ②やや長い 15 ③普通 62 ④やや短い 7 回答 88 人
 (3) 発表内容 ①サークル団体を中心 65 ②個人参加可 24 回答 89 人

2) 展示部門

- (1) 総合評価 ①よい 40 ②普通 40 ③工夫が足りない 11 回答 91 人
 (2) 展示形態 ①よい 31 ②普通 43 ③工夫が足りない 9 回答 83 人
 (3) 展示内容 ①よい 32 ②普通 41 ③工夫が足りない 6 回答 79 人

5. 文芸講座「人間正岡子規」(平成 26 年 6 月度 4 回開催、オープン講座 1 回開催)

1) この講座を受講した動機について

- ①正岡子規に関心があった 37 ②面白そうな内容 17 ③講師にひかれて 5 ④友人に誘われて 1 回答 60 人

2) 講座の参加費 (1000 円) について

- ①適切である 43 ②高い 0 ③安い 22 回答 65 人

6. 懇親会について (平成 26 年 10 月 30 日 コロット) (複数回答)

- ①内容は期待通り 6 ②演出に工夫があった 9 ③他のサークルの方と交流ができた 6 ④参加費妥当 12
 ⑤期待した内容でない 4 ⑥全体に工夫が必要 8 ⑦コンセプト・目的が不明 7

7. ホームページについて

1) どのくらいの頻度で閲覧するか

- ①週 2~3 回 14 ②週 1 回 38 ③月 1~3 回 62 ④ほとんど見ない 30 ⑤知らない 7 回答 151 人

2) どのような情報を得ているか (複数回答)

- ①倶楽部全体の動き 53 ②各サークル活動状況 73 ③イベント等の情報 60 ④ニュース今 24 ⑤広報紙 31

3) 使い易さ ①大変良い 21 ②まあ良い 63 ③普通 44 ④あまり良くない 2 ⑤良くない 2 回答 132 人

4) HP の工夫や対応で必要と思うもの

- ①デザインやレイアウト 10 ②掲載する情報や内容 34 ③情報の鮮度 29 ④色調の見易さ 2 回答 75 人

8. 広報紙「広場」でどのような情報を得ているか(複数回答) ①倶楽部全体の動き 88 ②サークル活動報告 69

- ③イベントなどの開催情報 68 ④連載記事 16 ⑤サークル活動計画 43 ⑥私の健康法 12 ⑦その他 4

サークル活動報告

再生可能エネルギーの拠点 「メガソーラー所沢」見学記

市のマチごとエコタウン所沢構想推進を担う愛称“とことこソーラー北野”見学を3月5日(木)に実施、全会員の半数を超える22名が参加した。当日西武球場前駅前9時半に出発、財団理事佐藤さんの先導で「トトロの森」を歩く。馬頭観音や希少な水田の脇を抜け進む。丁度、植生回復のための竹林伐採が行われていた。途中、衰弱しきった渡り鳥(緋連雀?)をみつけたり、谷の池に牛蛙の卵を発見したりと、にぎやかに、遊歩道を歩み見学地向かう。施設の見学台からは斜面に広がる太陽光パネ



野老澤の歴史をたのしむ会 小川 雅愛
ルが一面にキラキラ輝き壮観である。設置面積は約17,300㎡、4298枚のパネル枚数すべては見通せない。11時現在の発電量は850KW前後であった。本日は特別に市環境総務課職員の方に直に案内いただいた。設置候補地は一般廃棄物最終処分場跡地以外になかったこと、固定価格買取制度を活用した包括リース方式のメガソーラーとして県内初であること、市内に目立ったエネルギー源がなく、自前で生み出せるシステムという話に4年前の計画停電時を思い出し納得する。稼働から10年は赤字、それを過ぎてやっと黒字に転換する試算が示された。昨年の3月に発電が開始され、5月が発電ピーク、1年目は当初の予想を上回る発電、売電の実績をあげた。通常は立ち入れない施設内でも発電の仕組みや埋設物の通気口の説明をうけた。パネルのそばでは殊更規模の大きさを感じる。早春の一日、お二人のよき現場ガイド協力のもとに、所沢市史年表の最の主な出来事を確認でき、かつ、みどりの保全の歩みに関心を深める、楽しく学ぶ今期第5回目の活動ができたかと思う。

サークル訪問記⑤

懐かしの映画・鑑賞会

映画鑑賞を通じて「一笑一若」を实践

鳥田 良彦

最近、ある方から言われた「これまで落ち葉掻きなど何の負担も感じなかったが、声がかかってもどうもすみません」と断るようになった。「75歳を過ぎるとたまには日柄一日、お茶を飲みながら話もいいね!」と心境の変化を聞かされた。また、市民大学でお世話になった方がサークル活動で長い時間歩くことが苦になり、倶楽部を退会していった。

すこし前置きが長くなりましたが、3月10日(火)、「懐かしの映画・鑑賞会」の例会に行ってきました。懐かしの映画・鑑賞会は月2回開催しており、今回で42回を数える。“昔の映画館のように大いに楽しみましょう”というコンセプトを訪問する前から聞かされていた。西新井町公民館の会場に入ったら、座椅子が並べられていた。すでに20名弱の方がお茶を飲みながら、談笑し、上映を待ちわびていた。この情景は子供のころ、映画を村の公民館で見ていた時に戻ったようでもあった。

この日の上映は「紳士は金髪がお好き」で、1953年アメリカで公開されたミュージカル・コメディ映画。予定の映画は、笠智衆、岩下志麻主演の「秋刀

魚の味」、加東大介の「社長三代記」、チャールズ・チャップリンが監督・主演したコメディ映画「街の灯」である。このような、昭和30年代から50年代の名画を鑑賞しています。

このサークルの素晴らしい点は、懐かしき、良き時代の映画を鑑賞するだけでないことです。「一笑一若」(一つ笑えば、一つは若くなる)をモットーに「お茶・お菓子持ち込み大歓迎」で映画が終わった後、参加者がお茶を飲み、お弁当を食べながらお話しする「場」があることです。冒頭、長々と書いたことの答えがこの「懐かしの映画・鑑賞会」にあるように思えた。映画好きな方だけでなく、ちょっと仲間の方々とお話しするためにこの会に行ってみ



ませんか。

都度会員(非会員)木戸銭200円でお待ちしているとのことです。

サークル訪問記⑥
所沢の自然と農業

地産地消で健康増進

記 仲山 富夫

3月12日(木)サークル「所沢の自然と農業」の行事に参加させていただきました。

午前中は定例会で、6月までの活動計画が発表されました。

- 3月度：①市民大学フォーラム豊穰祈願祭
②府中郷土の森散策

4月度：景観まちづくり展示会参加

5月度：りんご花摘みボランティア(長野県)

6月度：菖蒲・紫陽花の花見散策、農業活性化活動、研修(ところ産食PJTとの懇談会等)

各月の担当が決められ、綿密に計画されていました。りんごの収穫ボランティアもあるそうです。

定例会へ参加して、活動の大切さや楽しさを感じました。是非、参加したいなと思いました。

午後の部は「都市近郊農業経営及び地産地消の取り組みについて」の講演会が、柳瀬公民館で開催されました。

地元所沢市を代表する農家である吉田昌男氏を講師に迎えての貴重なお話しでした。

会場には、所沢の自然と農業サークルの皆様、所沢市民大学の皆様、ところざわ倶楽部の会員の皆様と合わせて37名が出席されました。

吉田昌男講師は、ご自分の農業の、ご苦労話から農産物の本当の美味しさは地産物でないと判らないと、熱い言葉で話されました。地元の農家と飲食を携わる方々と連携して、美味しい野菜を提供している『ところ産食PJT』や直売所『アグレッッシュ元氣村』、『食の駅』といった地産地消の展開についてもお話いただきました。詳しくはHPで報告されています。

あらためて農家のご苦労と食の安全安心を考えさせられた研修内容でした。



サークル広報委員の紹介

広報部

ところざわ倶楽部は第8期となり、会員数も283名、帰属サークルも20(平成27年3月1日)となりました。組織が拡大し発展していくことにより、運営面でも、より綿密な連携が求められます。

広報部では、この度、各サークルの広報委員をお願い致しました。協力して、より幅広いニーズのある情報を発信してまいります。

広報委員の皆様には、広場・ホームページへの投稿促進をお願い致します。



サークル広報委員名(敬称略)

サークル名	担当者	サークル名	担当者
楽悠クラブ	高瀬 浩衣	葵の会	島川 謙二
傍聴席	石堂 智士	公園を楽しむ会	渡部 正俊
地球環境に学ぶ	井手 敏直	懐かしの映画・鑑賞会	橋爪 良輔
地域の自然を考える会	矢嶋 順一	歴史を楽しむ野老会	居田 治
ドラマティック・カンパニー	八木 雅子	民話の会	仲山 富夫
地域の自然	宮脇 正	北欧の会	森野 辰夫
アジア研究会	玉上 佳彦	食を通して所沢を知る会	小川 雅愛
歴史散策クラブ	当麻 実	所沢シニア世代地域デビュー支援の会	田口 元也
所沢の自然と農業	渡部 昇	みんなで学ぼう認知症	松本 紀彦
野老澤の歴史をたのしむ会	池田 衛	活きいきシニア福祉の会	木口 温子 中村 修市

「戦後 70 年を振り返る」シリーズ第 1 回

飛行機が落ちた！

アジア研究会 松本タケ子

戦後 70 年、それは戦中、終戦直後に生まれ、今日まで生きてきた我々の昭和史でもある。今号より、70 年を機に、倶楽部会員それぞれの戦後体験をシリーズで語っていただきます。

昭和 20 年 6 月には、近くの浜松が爆撃により焼き尽くされていた。

7 月 1 日、空襲警報で、母、私、弟、妹は庭に造った防空壕に飛び込んだ。凄まじい飛行音と銃撃音に私たちは身を縮めて通り過ぎるのを待った。つんざく様な音と振動の後、静かになったのでそっと出てみると、火が見えた。爆撃されたと思い防火用水の水をバケツに汲んで、道路に走り出した途端、肘から先の千切れた腕が落ちているのを見つけた。

見廻すと燃え上がっている人、電線にぶら下がっている人が目に入ってきた。火の手の上の方へ行くとお灯明所が燃えていた。飛行機がめっちゃめっちゃになり、エンジンが転がっていた。あまりの惨状に声も出なかった。近所の人達も皆無言で動いていた。私たちは家に帰るように言われた。その夜遅くまで、かすかな光りを頼りに遺体と機体の片づけが続いたという。

毎日のように飛来する B29 の編隊が、上空でキラキラ輝いているのを見ると、いつ私たちも爆撃されるのかと心配した。

あの日も浜松沖から時々飛来してくる艦載機・グラマンの攻撃だと思っていたが、硫黄島から 1,200 キロを飛んできた戦闘機ムスタングで、浜松上空を旋回していて日本の重爆撃機・飛龍と遭遇し、3 機で取り囲み銃撃戦となったのであった。

飛龍の操縦士は傷を負いながらも、県道沿いの民家を避け、小さい畑に落ちた。若い 9 人の命が消えたが住民には被害は無かった。

後に若い人妻らしい人が、線香を手向けているのを見た。

今、世界のあちこちで戦争があり、軍備拡張が話題に上る。普通に暮らしている人達が殺し合い、死ぬ。それが戦争なのだ。

— 参考資料：宮口物語 —

こんな事あんな事⑰

春のときめき

活いきシニア福祉の会

木口 温子

沈丁花の香りと共に迎えた三月も駆け足で過ぎようとしています。水やりも肥料もなんの世話もしなかったのに小さな庭にも忘れず花が咲いてくれました。今年はひとしお健気で愛しくありがたく感じています。なぜなら月初めに左右の眼の施術をしたのです。

眼帯を外された日、何と眩しく光輝く世界でしようか。今まで夕暮れの中にいた様で、皆、目にするもの午後の陽ざしの中でも芽吹きかけた木々の枝先、花のグラデーション、道行く人の軽やかな動き、路傍の野草の営み等、気にもかけなかったまわりの彩に、素直な感動を味わいました。毎年、特に年を重ねるごとに春だ、桜だと特別な意味も無く惰性で迎え、見送りの繰り返しでした。慌ただしくこの季節を過ごしてしまい、もったいなかったと悔やんでいます。こんな小さなことがきっかけで、希望や期待やささやかな夢が持てるなど思ってもいませんでした。

以前大きな夢を持ってアマゾン河のクロコダイ



ル狩りに行けとか、オクシオンに住めとか、豪華客船世界一周など、問題外に知人が教えてくれましたが、巡りくる、やわらかで淡紅色をした生命復活する春に

ふさわしい夢が湧いてきます。緑豊かな野山のハイキング、花や生物のスケッチ、古典文学（学生時代一番嫌いでした）等々にも励み家族に迷惑を掛けぬ様に心掛け前向きに生きたいと思えます。でも目の視力が回復してがっかりした事は自分の顔を鏡で眺めた時です。なんと正直に冷静にうつされた姿でしょう。このことだけは前の方が安心していられました。今順調に若い時と同じように見えて嬉しく喜んでいますが医学や光学の進歩にも感謝と感銘を覚えます。

私の様な患者の多い事も知りましたし、皆様もこの春を美しく、楽しく感じとっておられるでしょうが、とりわけ感慨深く満たされています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会(杉浦正紀 2949-5560)

4月22日(水)「所沢在住のアジア人との交流会」
13:30~16:30 中央公民館
5月20日(水) 定例会 13:30~16:30 中央公民館
詳細は後報にて

傍聴席(高垣輝雄 2926-7164)

4月20日(月) 学習会、14時~新所沢東公民館
① 平成27年度所沢市の予算
② 市議選：候補者アンケート
市の予算を学び、市議選候補者の考えを読みあわせませす。

地域の自然を考える会(広沢正己 2939-9181)

4月11日(土) 早稲田春の散策と懇親会 9:30~14:00
4月28日(火) トトロ12号地管理作業 10:00~12:00
5月26日(火) トトロ12号地管理作業 10:00~12:00

地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117)

4月21日(火) 定例会 9時~12時頃 新所沢東公民館
5/23実施のシンポジウム打ち合わせ他と 11時~熊谷
気象台の出前講座用P.P用データ鑑賞勉強会
5月19日(火) 定例会 9:00~11:00 予定

楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要)

4月14日(火)①歌劇「ドン・カルロ」後編 ②ベートーヴェン交響曲
第7番DVD鑑賞(場)中央公民館#8・9 (時)13:15~16:30
5月11日(月)①歌劇「トスカ」 ②ベートーヴェン交響曲第8番DVD
鑑賞(場)中央公民館#8・9 (時)13:15~16:30

歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)

4月9日(土) 巣鴨、染井、六義園&花見
集合、所沢駅2階改札内 9:00
5月16日(土) 世田谷歴史巡り
集合、所沢駅2階改札内 8:50

北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)

第58回例会 4月24日(金) 14時00分~
持ち寄り学習会 デンマークの移民のDVD鑑賞と
話し合い、アクティブ・シティズンシップについて他
場所 新所沢東公民館

地域の自然(加藤司則 2998-3922)

4月11日(土) 9:00~12:30 早稲田大学B地区
総会、調査地の片付け、畑の整備(サツマイモ植付け準備)
4月25日(土) 9:00~12:30 緑の森博物館(所沢
市分) 保全作業、毎木調査(樹木名、胸高直径測定など)

所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835)

4月20~24日 景観まちづくり展示会 所沢市役所
5月7日(木) 定例会 13:00~新所沢公民館
5月中旬 長野県高山村 りんご花摘みボランティア

ドラマティック・カンパニー(伊藤孝子 090-3402-2962)

4月18日(土)、5月2日(土)、16日(土)
いずれも10:00~12:00(予定) 『ウィンザーの陽気な
女房たち』を読み進めます。
会場：新所沢東公民館
*シェイクスピアを楽しく深く学べます。見学大歓迎。

葵の会(池田新八郎 2940-0711)

4月9日(木) 13:30~16:00 中央公民館
古典講座「徒然草を読む」第4回
“一道一芸をきわめること” 講師：小川達雄先生
5月14日(木) 第5回「徒然草」を読む

野老澤の歴史をたのしむ会(小倉洋一 2949-4695)

4月16日(木) 鎌倉街道(上道を鎌倉まで歩く)③
集合 JR 新秋津駅改札口 8時30分
5月7日(木) 玉川上水を歩く②
集合 所沢駅 3番ホーム 8時25分

公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014)

4月23日(木):ユネスコ無形文化遺産に登録「和紙の里・
“武蔵の小京都小川町”を訪ねる。9時40分本川越駅集
合雨天決行、但し一部行程変更有。
5月28日(木):新宿御苑とその界隈を散策、詳細は別途

歴史を楽しむ野老会(居田治 2903-8400)

5月14日:品川宿を歩く、京急北品川~大森まで(計画中)
6月19日:新選組のふるさと・甲州街道日野宿から
アジサイの咲く高幡不動尊へ(計画中)
7月03日:忍城、古代蓮、さきたま古墳群をめぐる

懐かしの映画・鑑賞会(二上拓夫 080-1250-6151)

4月14日(火) 10時~12時30分 西新井町公民館
邦画「社長三代記」(58年) 森繁久彌・小林桂樹
4月28日(火) 10時~12時30分 西新井町公民館
洋画「街の灯」(34年)チャールズ・チャップリン

民話の会(仲山富夫 090-3902-0283)

4月17日(金)10:00~13:00 中央公民館 学習室1号
所沢の民話「河童の詫び証文」読み合わせ
「福猫塚」読み合わせ
5月15日(金) 10:00~13:00 中央公民館

食を通して所沢を知る会(岡部まさ子 2928-1868)

5月12日(火) お茶の博物館(入間市博物館アリット)
訪問

みんなで学ぼう認知症(本多義博 090-3144-1438)

4月10日(金) 午前中新宿御苑で花見、午後から歌声喫
茶「ともしび」で大きな声で合唱
※ご希望の方、ご一緒されませんか?大歓迎です!
4月27日(月) 13:30~生涯学習推進センターにて総会

所沢シニア世代地域レビュー支援の会(田口元也 090-9820-5668)

4月14日(火) 10:00~12:00
定例会 所沢生涯学習推進センター 102号室
議題: ①市民活動支援センターの取り組み
②文化祭出演演目の内容検討 ほか

活いきシニア福祉の会(佐藤重松 090-5412-5760)

4月22日(水) 第6回定例会
<介護保険と実情について>
*統一地方選挙<所沢市議会議員立候補者への質問>
高齢者福祉とりわけ、高齢化がすすむ中で、介護政策
について質してみよう。

【私の健康法 第24回】

登山で鍛えた健康 志村 喜八



私は20歳過ぎてから、一人で楽しめるものが好きで、ハイキング、登山などをやりながら今まで来ました。身体

の事は相当に気をつけてきたつもりです。岩登り、沢登り、冬山、山スキーなど、がむしやりにやってきましたので、いろいろなことがありました。南アルプス、赤石沢では落下し、会社を2ヶ月も休んだこともあり

ました。冬の北アルプスでは3日間のビバークなど、今日まで数えたらきりがな



ほどのアクシデントで、身体を痛めすぎているようです。とくに腰が悪く、病院に行っても動けなくなったら来なさいと言われて



むさし野俳句会（二十七年三月）水戸偕楽園作品抄

石刷りの弘道館記春寒し 鈴木 征子
紅白を思ひのままに梅の花 高光 泉
梢の梅空へ空へとふくらみて 中嶋 弘子
烈公梅大地震（ない）かはすくねりかな 橋本 佑子
孟宗に纏はる風や梅の里 平栗 彰子
柳（とち）葺の木戸をくぐりて竹の秋 荒幡千鶴子
昼の月色のこぼるる雛の家 飯泉 陽子
梅にほふ弘道館の書籍かな 池田新八郎
東屋のよもやま話梅の花 井出 昇
磔刑の身を振ること野梅咲き 海老澤愛之助

踏踞の老樹に杖や烈公梅 粕谷のぼる
ほのあをき月影といふ花の兄 河瀬 俊彦
松竹林抜けて梅林吟行会 小林 貞夫
藩校の柁目の縁のあたたかき 小林 典子
一幅に尊攘二文字水戸の春 佐藤 八郎
明治てふ夜明の予告梅白し 白神 恵子
足裏の清しき柁目春兆す 高梨千代
冴返る弘道館の蟄居の間 中村直子
ほつほつと秀つ枝を登るむめの花 高橋三加子
芯朽ちて皮一枚の野梅かな 利根川啓一



《編集後記》

▼『一寸庵閑話』を前号で終了することになりました。「広場のページは倶楽部みんなのものであり、一人が連載するのは好ましくない。」というトップの意向に沿ったもの。このコラムは第1期に「ちょっと軽い風刺もきいたエッセイを書いたらどうかしら」と編集長に勧められ、広場第7号から1年間ほど書きました。ご婦人方から好評をいただきました。ペンネームで書きましたので「誰かしら？」と話題にもなったとか。▼昨年、編集長から「あまり堅苦しくない以前のよう

なものをまた書いてみない？」といわれて、7月号から『一寸庵閑話』第2部を前回の倍のスペースで書き始めたのです。「いつも楽しみに読んでます」と何人かから云われて、がんばって書きました。ご愛読いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。（-;-）

▼ショスタコービッチの交響曲第5番（1937年作曲）が好きです。第4楽章で『252回つづくラ音』、それは

「広場」問い合わせ 鳥田良彦 (090-5550-8015)